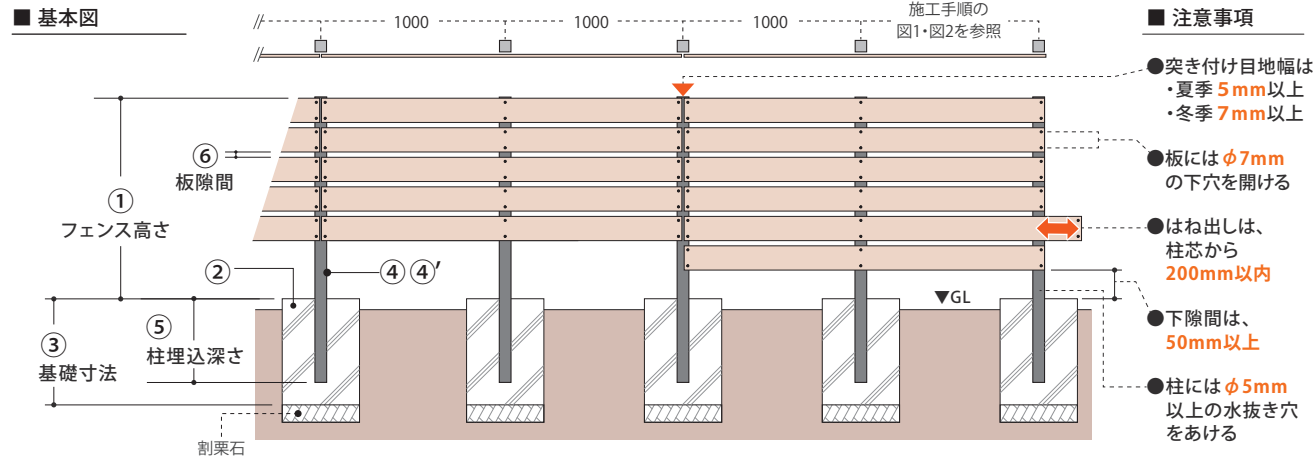


参考施工仕様 [よこ貼り / ORIGINAL・MOKUME・LIMITED 共通]



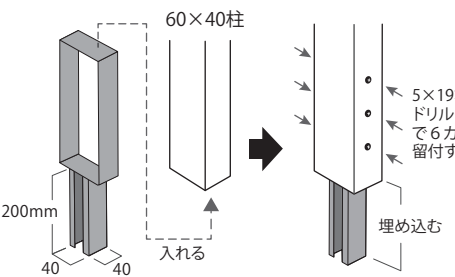
フェンス高差別 施工仕様表

① フェンス高さ	1200mm以下	1201mm以上～2000mm以下	2001mm以上～2199mm以下
② 使用基礎	●ブロック※1 ●独立基礎ブロック ●コンクリート基礎 } いずれも可能	●独立基礎ブロック 又は ●コンクリート基礎	●独立基礎ブロック 又は ●コンクリート基礎
③ 基礎寸法 ※2	巾300 × 厚300 × 根入400	巾450 × 厚450 × 根入450	巾450 × 厚450 × 根入550
④ 使用する柱	アルミ柱 40角 アルミ柱 60×40	アルミ柱 70角	アルミ柱 70角
④' 必要柱長さ	(フェンス高さ) (必要な柱長さ) ●H800 以内 → L=1000mm ●H1000 以内 → L=1200mm ●H1200 以内 → L=1500mm	(フェンス高さ) (必要な柱長さ) ●H1500 以内 → L=1800mm ●H1800 以内 → L=2100mm ●H2000 以内 → L=2500mm	(フェンス高さ) (必要な柱長さ) ●H2200 以内 → L=3000mm
⑤ 柱埋込深さ	200mm以上	300mm以上	500mm程度
⑥ 板隙間	5mm以上	5mm以上	5mm以上 ※H2001mm以上の場合で、板隙間が15mm以下の場合は、鉄芯材の使用をお薦めします。
必要な場合 オプション部材を選択	<p>☑️ ブロック上への施工で、アルミ柱60×40がブロック穴に入らない場合 → 「60×40柱用 埋め込み金物」をお使い下さい</p> <p>☑️ ・強風地域や、柱に強度が必要な場合 ・フェンス高がH2200以上の場合 → 「ZAM鉄芯」又は、控え柱が必要です</p> <p>☑️ 水が凍結する恐れがある地域の場合 → 「凍結防止用 発泡スチロール」をお使い下さい</p>		

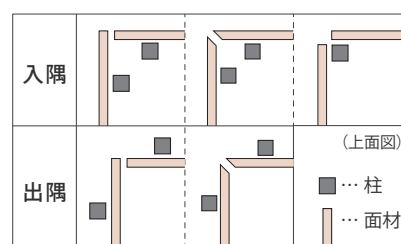
※1：コンクリートブロックでの施工は、厚み12cm以上かつ、C種の性能以上の物をご使用ください。
 ※2：「③基礎寸法」は参考寸法です。フェンスタイプや地盤状況、風当り等現場によって異なる場合があります。状況に応じてご検討下さい。

60×40柱用 埋込金物の使い方

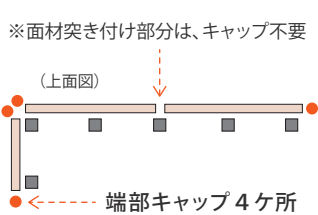
ブロック穴にアルミ柱60×40が入らない場合に使用します。柱両側面からビス留めしブロックへ施工下さい。



コーナーの納め



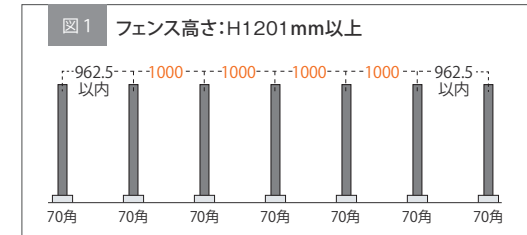
端部キャップ取付箇所



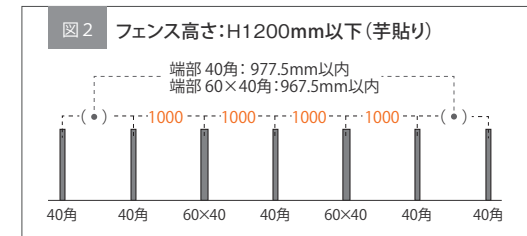
施工手順 [よこ貼り]

1 アルミ柱を設置する。

- 柱ピッチは芯々1000mm以内としてください。(図1、2参照)
- 現場状況に応じて控え柱などの補強を施してください。
- フェンス高がH2200mm以上になる場合は、アルミ柱に鉄芯材を入れてください。
- 柱には必ず直径5mm以上の水抜き穴をあけてください。
※水が凍結する可能性のある地域では、アルミ柱埋め込み部分に、凍結防止用発泡スチロールをご使用下さい。

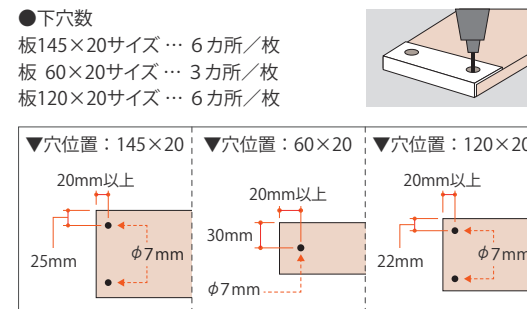


- H1200以下の場合、図2の様に「40角柱」と「60×40柱」を立ててください。



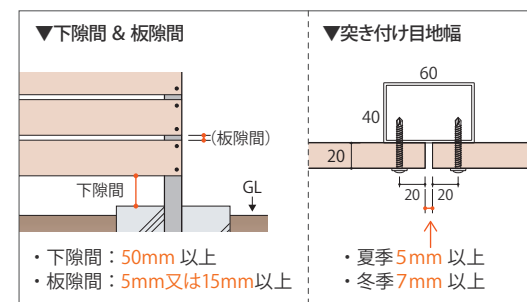
2 再生木板上に、穴あけ治具でφ7mmの下穴をあける。

- 板は製造時に定尺でカットされていますが、季節や昼夜の寒暖差、日当たりによって伸び縮みし、多少長さに違いが出ます。施工前に板の実寸を測り、必要に合わせてカットして下さい。

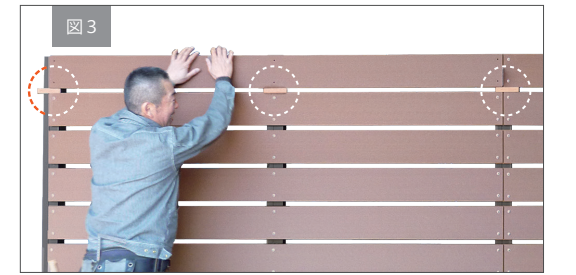


3 クランプ等で、再生木をアルミ柱へ仮固定する。

- 下図の各隙間を、スペーサーで調節しながら固定します。
- 面材の板隙間は、所定の隙間(左ページ記載⑥)以上空けてください。
- 面材の突き付け目地は必ず隙間をあけてください。(夏季5mm、冬季7mm以上)



- 再生木に曲りがある場合、図3の様に両端と真ん中の3点にスペーサーを挟み、両端を固定した後、中間部を矯正しながら固定してください。



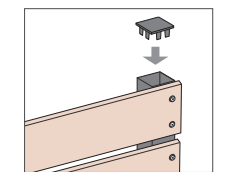
4 シンワッシャードリルビスで板を固定する。

- ビス使用数
板145×20サイズ… 6本/枚
板60×20サイズ… 3本/枚
板120×20サイズ… 6本/枚
※再生木板の伸縮に対応する為、ビスが板に食い込み程締めすぎない様に、留め付けて下さい。



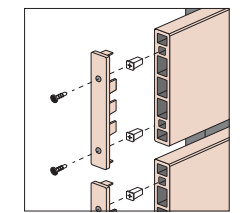
5 柱の天端に、天端キャップを接着剤で留付する。

- 接着剤で、柱天端にキャップを留め付けします。
※留め付けは、推奨品の「ウルトラ多用途SU」又は、市販品(ASA素材と金属接着対応)をお使い下さい。



6 再生木板の端部に、端部キャップを取付ける。

- 端部キャップ用留付セットのアンカーを板の空洞に差し込み、その上からキャップをはめ、ビスでキャップを留付します。



7 完成



施工動画 Webページのご案内



エコモックの特性を踏まえた、施工方法をYouTubeでご覧いただけます。左のQRコードを携帯で読み取りご利用ください。
 ●Webアドレス：
<https://youtu.be/ln4jnci4TqU>